

教育のぼりべつ

令和7年
3月3日
No.45

発行：登別市教育委員会 TEL0143-88-1100 〒059-0014 登別市富士町7丁目33番地

令和6年度 舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演） 「ルドルフとイッパイアッテナ」〈ミュージカル公演〉

11月20日（水）、市民会館大ホールにおいて、市内8小学校の6年生が《ミュージカル公演》「ルドルフとイッパイアッテナ」を鑑賞しました。

この巡回公演は文化庁の事業で、小中学校においてトップレベルの文化芸術団体による公演を通じて、将来を担うすべての子どもたちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的としています。

今年度は、劇団「ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ」によるミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」～飼い主と離ればなれになり、東京に来た黒猫ルドルフが、町のボス猫と共に野良猫としてたくましく生きていくストーリー～を公演しました。

劇中では、青葉小学校6年生（37名）が事前のワークショップで、劇団員から歌やダンスの指導を受けた「もうすぐ給食」、「ステトラの武勇伝」、「カーテンコール友達がいれば」の場面に出演し堂々と自らの役を演じました。



「カーテンコール友達がいれば」の場面



「もうすぐ給食」の場面



「ステトラの武勇伝」の場面

登別市立緑陽中学校 公開研究会

11月22日（金）、緑陽中学校で公開研究会が開催され、3年生数学科「図形と相似」の授業が公開されました。研究テーマを『見方・考え方を働かせ、自分の考えを深め、表現する生徒の育成～読解力、思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫を通して～』と設定し、授業ではICTを活用し、三角形の相似条件などを利用して証明問題をつくり、その問題について説明できるように取り組んでいました。



登別市立若草小学校 公開研究会

11月28日（木）、登別市教育実践研究奨励校の若草小学校で公開研究会が開催され、2年生算数科「三角形と四角形」、6年生算数科「比例と反比例」、特別支援算数科3年「式と計算」の授業が公開されました。研究テーマを『自分の考えを伝え合うための指導法の工夫～「わかった」「できた」を子どもが実感できる算数科の授業を目指して～』と設定し、2年生の授業では、三角形や四角形と言われる理由を考え、ペアで自分の考えを伝え合いました。



登別市立西陵中学校 公開研究会

11月29日（金）、登別市教育実践研究奨励校の西陵中学校で公開研究会が開催され、1年生社会科「中世の日本 武家政治の成立とユーラシアの交流」、1年生理科「身のまわりの現象 力のはたらき」、2年生音楽科「交響曲第5番ハ短調作品67」の授業が公開されました。研究テーマを『主体的に学びに向かい、自己の力を高める生徒の育成～学びを実感させる学習過程の工夫と、自立した学習習慣の定着を通して～』と設定し、音楽の授業では、「交響曲第5番ハ短調作品67」の曲想と音楽の構造との関わりについて音楽がどのように展開するのか鑑賞し、感じ取ったことをもとにソナタ形式について理解を深めました。



令和6年度学校力向上に関する総合実践事業

登別市立幌別小学校 学校公開

12月6日（金）、登別市教育実践研究奨励校の幌別小学校において「学校力向上に関する総合実践事業」学校公開が開催されました。

研究主題を「自ら問いかけ、考えを深める子の育成～主体的に考える算数科の授業の在り方～」と設定し、2年生算数科「かけ算のきまり」、5年生算数科「割合」の授業が公開されました。2年生では、九九にないかけ算の答えは、どのように求めるか、図や表を利用して自分の考えをまとめ、相手に伝わるよう取り組んでいました。5年生では、ある二つの数量の関係で、もとにする量が違う時にはどのようにして比べると良いかという課題について考え、割合を使って比べると良いことを図や式を使ってまとめ、交流しました。その後の全体会では、校内研修の取組や道外視察（山形県天童市天童中部小学校）の報告が行われました。



登別市議会議長 辻 弘之さんが特別講師

「登別市議会の特色ある取組について」

12月19日（木）、登別市議会議長の辻弘之さんが特別講師となり、西陵中学校の3年生を対象に「議会について学ぶ」特別授業が登別市議会の議場で行われました。

辻議長は、市民の様々な意見をまちづくりに活かそうとする取組や議員資格、議員報酬などをスライドで分かりやすく丁寧に説明していました。また、生徒たちは、議場について説明を受け、議長役や市長役になって各席に座り模擬体験に取り組んでいました。生徒にとって、議員の生の声を聞くことができる機会は少なく、特別授業を通して、民主主義を身近に感じる貴重な経験ができました。



登別市姉妹都市の白石市・海老名市と三市交流 白石市で「ふるさとのまちを語る中学生交流事業」

11月26日（火）27日（水）の二日間、登別市を代表し、鷺別中学校生徒会赤間心友里さんと佐々木椎恵さん（引率：河野敦教諭）が、登別市の姉妹都市である宮城県白石市で白石市と神奈川県海老名市の三市交流事業に参加してきました。

1日目は「白石城」見学と古典芸能伝承の館「碧水園」で茶道体験、2日目は白石市教育委員会の表敬訪問、白石市立福岡中学校での学校交流に参加したほか、「弥治郎こけし村」でこけしの絵付け体験を行いました。学校交流では「ふるさと登別」や「鷺別中学校」について紹介し、海老名市立大谷中学校・柏ヶ谷中学校の両校とも交流を深めました。生徒たちは今回の交流事業を通し様々な面で登別との違いなどを感じました。



白石城



学校交流 (福岡中)



茶道体験



こけしの絵付け体験



白石市教育委員会表敬訪

みんなでHIP-HOP！！

登別市文化・スポーツ振興財団の主催によるダンスレッスン派遣事業が、1月29日（水）に幌別中学校の2学年体育科の授業で実施されました。この事業は、“現代的なリズムのダンス”であるヒップホップダンスの初歩的な技術を習得し、ステップアップを目指すことを目標に行われ、室蘭のダンススタジオDOC'Sの講師宮坂あつみさんにヒップホップダンスを分かりやすく丁寧に説明してもらい、生徒たちは、最初はとまどいながらも積極的に挑戦し、最後まで笑顔で楽しく体を動かしていました。

